



読字英原田 銀

No. 764

2015/ 4/25

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒110-0005 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111

日中友好協会
岡山支部
〒713-8256
岡山市東区3-8-30 514
TEL: 0861-272-3010
郵便番号1100
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8511
倉敷市遊島中央1-8-1
(倉敷地方)
TEL: FAX: 0861-446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



中国帰国者問題写真と資料展

— 中国残留孤児・婦人の歴史を通して、

次世代に平和の大切さを伝えよう —

日中岡山支部 小林軍治

日中友好協会岡山支部は、4月21日から23日まで岡山市役所一階ロビーで、八回目の中国帰国者問題写真と資料展を開催しました。

一、中国残留日本人孤児および残留婦人の二世・三世のあゆみ」と題し、龍爪開拓団の今岡泰子さん、今岡寛さん、愛子さんの人生。

二、中国帰国者の日本語教室10年の歩みと現状。

三、中国帰国者との交流会や映画「望郷の鐘」満蒙開拓団の落日〜上映活動など。

この展示は、2008年4月の第一回から岡山市福祉援護課の協力のもとに実施しています。

21日には、校外学習の 일환として参観した芳田日本語学習講座の受講生・講師など約80人が訪れました。

取材は4件(山陽新聞・岡山民報・KSB・OHK)ありました。記者の中には新入社員が

勉強を兼ねて熱心に取材していました。

今岡寛さん(残留婦人の二世)、守本信子さん(芳田日本語学習講座受講生)や船越美智子さん(岡山市支援・相談員)は、取材に応じ、展示資料をもとに「残留孤児・婦人の歴史」および「日本語教室の現状」日本での生活」など、体験をもとに話し、平和の大切さを一生懸命説明しました。

私は、70年前のアジア・太平洋戦争によって生まれた、中国残留孤児の歴史を通して次世代に平和の大切さを伝えたい」と話しました。

参観者のアンケートを紹介いたします。

60代 男性

一番印象に残った作品は？

残留孤児および残留婦人の二世・三世のあゆみ

日本に帰国しても日本の地域にとけこめず、(県北の人から聞いた話)孤立している人がいると聞き、本当に悲劇だと思いました。本日のこのような支援の輪があることを知り心強い思いと感謝の気持ちです。私は妻がハルビン方正県の出身なのでハルビンにも2度行き、少しは事情がわかりましたので特に今回の活動を知り

60代 女性

一番印象に残った作品は？

中国 残留日本人孤児」問題の資料と写真展、龍爪開拓団の資料

知らないことが多い自分に気づかされた、多くの犠牲を出したアジア・太平洋(15年戦争)の被害者は、一般人、子どもたちに及んでいます。このような人災(戦争)を再び起こすことがないように、また、人生を狂わされた人々に対し誠実な対応を求めます。ありがとうございました。



芳田日本語学習講座のみなさんと竹内理事長



熱心に取材を受ける今岡寛さん



中国帰国者問題写真と資料展

2日目(4月22日)の当番で、昼から市役所に詰めていました。

場所がらでしようか、一般市民の方や市役所の職員などがたくさん通りかかりました。中には興味を持って展示を見てくださる方もいます。しばらく待ってから、資料をお持ちします。

ですが、概して若者は少なく、年配の方が多いのは少し残念です。アンケートにご協力いただいた方の感想文をご紹介します。ご協力ありがとうございました。

今岡さんから帰国者のお話と日本語教室の現状が、一番

印象に残りました。

私は戦争を知らない世代です。しかし、大伯母は満鉄の仕事に従事していた夫、家族と共に大陸で生活し、終戦後、男の格好をして幼い子供たちの手をひいて引き揚げてきたと母から聞いていました。又、沖繩戦で伯父は戦病死、その次の伯父も特攻志願で少年飛行兵として出ていました。

イメージ的には当初、説明にあつたように自らの意志で渡満し、農業政策に従事し、終戦時運悪く、ソ連の南進により、逃避行することになり、その道中でさまざまな悲

劇が生まれたという感じでした。しかし、その中の国策という意味については、詳細には知りませんでした。

現在の政治が当時に戻らなければよいと願うと共に、私自身周囲に対し、普通にコミュニケーションがとっていければと思います。」

(真田)

30代 女性

一番印象に残った作品は？
日本語教室の報告

いろいろな活動をしているのは知らなかった。長い歴史をもつと知らない。近い国のことなのに。

「郵便投票」の拡充を求めて

稲葉泰子

4月12日に一斉地方選挙の前半戦が行われました。憲法15条で、日本国民の成人であればだれでも選挙をすることができると謳われています。しかし、行使しなくてはならない方がおられます。前回の国政選挙で成年後見制度を使われている方が行使できないのは憲法に保障している権利に違反しているという事で、裁判を闘い、選挙法を変えさせました。

今回、私が勤めている、介護事業所でそのような方がおられました。さっそく、障害者の生活と権利を守る全国連絡会の総会で上京した際に総務省の交渉で訴えました。それは、障害を持った方が投票所に出かけていけない時に行使できる「郵便投票」についてです。この投票制度は長い間、障害者の参政権保障を求めて闘ってきた成果ではありませんが、まだまだ厳しい制限があ

るのです。今回、事業所の取り組みの中でそのことがわかり驚きました。それは、基本的に郵便投票をするなら、自筆のできる方で、もし自筆が無理での代理投票の場合は「空廃」という記載が障害者手帳に書かれてないといけなからです。細かい制限を廃止してください。と訴えました。今の大企業優先、大軍拡を推し進める政治路線の中で一番、おきざりにされているからこそ、1票がとて重いものになると思います。

以下は国家秘密である。これを漏らしたものは、10年以下の懲役に処される

アベノことば笑辞典 (解説付き)

憲法改正:安倍と橋下相互の協力を表明

- *安倍首相「橋本君、君は、今、何を考えているのかね」
- 橋下維新の会最高顧問「総理、それは、総理と同じです」
- 安倍首相 独言 (そうか やはり従軍慰安婦復活か)

靖国神社

- *ヒットラーとスターリンも合祀し崇敬したい神聖なところ

戦後歴史認識

- *地政学的無神経

戦後70年安倍談話(現在未発表)

- *鬼が出るか、蛇が出るか、観覧席は、北京、ソウル、ワシントン、かぶりつきニッポン
- *お友達そろい踏み(有識者懇談会メンバー発表)



日中友好協会総会日程決まる

- 岡山支部
日時 6月21日(日曜日) 13時30分～
旭東福祉プラザ
- 倉敷支部
日時 6月27日(土) 10時～
ライフパーク倉敷

次回の新聞送付作業は5月1日(金)午後2時から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

今岡 小林 真田 和 竹内 和 竹内 和 坪井 深井 三垣

中国語の学習

真田紀子

4月18日と19日、続けて2日間授業でした。18日の授業で、私の作った作文です。

我昨天开车去新庄村, 赏樱花。我走在樱花道路上。我一边吃「たいやき」一边赏樱花。

ピンインを打って中国語を入力するのも大変です。続いてOU老師が作ってくれたプリントです。

タイトルは「中国南北方的不同」です。内容は、餃子についての話で、南の方では手作りの餃子ではなく冷凍餃子「速冻饺子」を買って食べるということでした。中国は広いですからね。

19日に私の作った作文です。

「作天, 我和田中女士去麦当劳了。我们在在里弄电脑文件, 上传相片。我吃了冰淇淋。接下来我们一直在聊天。

この日のプリントは「参加中国人的宴会」中国人は乾杯が大好きで、何度もやるそうです。飲めない人は早めにご挨拶をお願いします。